

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年11月18日 (2010.11.18)

【公表番号】特表2010-501167(P2010-501167A)

【公表日】平成22年1月21日 (2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-524883(P2009-524883)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/12 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

C 1 2 Q 1/48 (2006.01)

C 1 2 N 9/99 (2006.01)

C 0 7 K 16/40 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/12

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

A 0 1 K 67/027

C 1 2 Q 1/48 Z

C 1 2 N 9/99

C 0 7 K 16/40

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/00

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/53 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月10日(2010.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号2、又は配列番号25に対して少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする、単離された核酸。

【請求項2】

配列番号2、又は配列番号25のアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする、請求項1記載の単離された核酸。

【請求項3】

配列番号4、又はその相補物から選択される約500個の連続するヌクレオチドに対して少なくとも70%の同一性を有する核酸配列を含む、請求項1記載の単離された核酸。

【請求項4】

配列番号4、又はその相補物の核酸配列を含む請求項1記載の単離された核酸。

【請求項5】

配列番号2、又は配列番号25に対して少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチドであって、ミオシン軽鎖をリン酸化することができる、前記ポリペプチド。

【請求項6】

前記ポリペプチドが、心筋ミオシンのミオシン軽鎖をリン酸化することができる、請求項5記載の単離されたポリペプチド。

【請求項7】

前記ポリペプチドが、哺乳動物の心筋ミオシンのミオシン軽鎖をリン酸化することができる、請求項5記載の単離されたポリペプチド。

【請求項8】

前記ポリペプチドが配列番号2、又は配列番号25のアミノ酸配列を含む、請求項5記載の単離されたポリペプチド。

【請求項9】

配列番号4の少なくとも10個の連続したヌクレオチド、又はその相補鎖を含む、単離されたオリゴヌクレオチド。

【請求項10】

前記コードされたポリペプチドがミオシン軽鎖をリン酸化することができる、請求項1記載の単離された核酸を含むベクター。

【請求項11】

配列番号4の核酸配列を含む、請求項10記載のベクター。

【請求項12】

前記核酸が転写制御配列に作動可能に連結される、請求項10記載のベクター。

【請求項13】

前記ベクターが、プラスミド、コスミド、ウイルス、及びバクテリオファージを含む群から選択される、請求項10記載のベクター。

【請求項14】

配列番号2、又は配列番号25を含むポリペプチドが、前記ベクターで形質転換された細胞によって発現される、請求項10記載のベクター。

【請求項15】

請求項1記載の核酸を含む、単離された宿主細胞。

【請求項16】

請求項10記載のベクターを含む、単離された宿主細胞。

【請求項 17】

配列番号2、又は配列番号25のアミノ酸配列を含むポリペプチドに特異的に結合する抗体。

【請求項 18】

ニューキナーゼポリペプチドをコードする核酸を発現するトランスジェニック非ヒト動物であって、該ニューキナーゼポリペプチドが配列番号2又は配列番号25のアミノ酸配列を含む、前記トランスジェニック非ヒト動物。

【請求項 19】

前記動物がニューキナーゼポリペプチドを過剰発現、又は過小発現する、請求項18記載のトランスジェニック非ヒト動物。

【請求項 20】

前記動物が、配列番号4、又はその相補物に対して少なくとも70%の同一性を有する核酸を含む、請求項18記載のトランスジェニック非ヒト動物。

【請求項 21】

その生殖細胞がニューキナーゼポリペプチドをコードする内因性核酸配列にホモ接合性無発現変異を含むトランスジェニック非ヒト動物であって、該ニューキナーゼポリペプチドが配列番号2又は配列番号25のアミノ酸配列を含み、かつ該突然変異は、ニューキナーゼ転写に対して逆向きの、ネオマイシンカセットの挿入によって作製され、かつ前記突然変異は、前記動物が機能的ニューキナーゼポリペプチドを発現しないように、胚性幹細胞における相同組換えによって前記動物に導入された、前記トランスジェニック非ヒト動物。

【請求項 22】

配列番号2、又は配列番号25を含むアミノ酸配列を有するポリペプチド、及び医薬として許容し得る担体を含む組成物。

【請求項 23】

配列番号2、又は配列番号25を含むアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド、及び医薬として許容し得る担体を含む組成物。

【請求項 24】

前記ポリヌクレオチドが配列番号4のヌクレオチド配列を含む、請求項23記載の組成物。

【請求項 25】

i) 配列番号4の少なくとも10個の連続したヌクレオチド、又はその相補鎖を含む単離されたオリゴヌクレオチド、及びii) 容器、を含むキット。

【請求項 26】

宿主細胞においてニューキナーゼポリペプチドを産生する方法であって、該ニューキナーゼポリペプチドが配列番号2又は配列番号25のアミノ酸配列を含み、i) 該宿主細胞を、該ニューキナーゼポリペプチドをコードする核酸配列で形質転換すること；及びii) 該ニューキナーゼポリペプチドが該宿主細胞によって産生されるように、該核酸配列を発現すること；を含む、前記方法。